
わたしたち、の。

おれんじていー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしたち、の。

【Nコード】

N1954V

【作者名】

おれんじていー

【あらすじ】

ごくごく平凡な高校生活を送っていたさや。これはこの先も変わらない。そう思っていた。だがしかし、急に自分の家をシェアールムにするとお母さんが言い出して・・・！？さやの高校でイケメンと騒がれている人や可愛いけどぶりっこで嫌われている子のような絶対かわらないと思っていた人達にさやは巻き込まれていく。

わたしの日常

がやがやとにぎやかな教室。

ごはんのあとの睡魔がひどい午後。

ふつつの高校生の日常。

「ねえねえやっぱ高橋くんかっこいいよね！」

「うんうん！でも私は古閑君派かな！」

「えー！私は山崎くん！」

「あ！また宇佐野男と一緒にいるー」

「うわ！さっすがぶりっこ。うっぎー」

「騙される男子もバカー」

「ねー」

かっこいい男子の話や嫌われてる女子の話。
いつものこと。

「いいよねー。ネー」

「え？」

急に話しかけられ、ぼーとしていた意識が引き戻された。

「彼氏いるし、青春してるよねー。まあ言っちゃ悪いけど、男に好かれても宇佐野みたいにはなりたくないわー。あと高橋集団もかっこいいけどかわつたらとりまきうざそうだし。現に高橋に言い寄ってた1年の女子、今不登校中らしいね。高橋集団のとりまきがやったらしいよ」

「こっわー。女子はやることえげつないね」

「あたしらも女子だけどね」

「あはは。でもゆうなさっぱりしてるから好き」

そう。

あたしは周りの友達にも恵まれて、彼氏もいて、こんな平凡な日常がすごく幸せだと思う。誰にも壊されたくない。壊すなら、あたしが……。

「じゃあねー。さーこ。また明日」

あたしはゆうなと別れて家に着いた。

「ただいまー。」

あれ。なんか、荷物いっぱい置かれてるんだけど……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1954v/>

わたしたち、の。

2011年10月8日21時59分発行